

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 第4期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価

評価基準 「S」:計画を大幅に上回っている 「A」:計画を上回っている 「B」:計画に概ね合致している 「C」:計画をやや下回っている 「D」:計画をやや下回っており、大幅な改善が必要

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評定																																													
			自己 評定	評定の理由等	年度毎の評定				評 価																																									
					R2	R3	R4	R5		評 定																																								
第1 中期目標の期間	第1 中期計画の期間																																																	
令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間とする。	令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間とする。																																																	
第2 住民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																																																	
<p>山形県・酒田市病院機構は、将来にわたり「安心、信頼、高度」の医療を安定的に提供していくとともに、「保健、医療、福祉」の地域連携を推進し、地域完結型の医療を実現するため、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院及び日本海八幡クリニック等診療所を運営し、庄内地域における中核的な医療機関としての役割を引き続き発揮していくこと。</p> <p>日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院及び日本海八幡クリニック等診療所の基本的機能は次の表のとおりとする。ただし、次項に掲げる地域の医療機関等との機能分担・連携を推進する過程で、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院及び日本海八幡クリニック等診療所の機能見直しが必要な場合は、設立団体と協議しながら検討を進めること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">病 院 等</th> <th style="width: 85%;">基 本 的 な 機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">日本海総合病院</td> <td>三次救急医療(救命救急センター)</td> </tr> <tr> <td>急性期医療、災害医療、感染症医療、地域医療支援、へき地医療支援 がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・小児医療・周産期医療・精神疾患などの専門医療 これらの医療水準の向上のための教育研修</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>回復期・慢性期医療(在宅医療等への支援を含む)</td> </tr> <tr> <td>回復期リハビリテーション・通所リハビリテーション 脳卒中回復期・維持期のリハビリテーション これらの医療水準の向上のための教育研修</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">日本海八幡クリニック</td> <td>一次医療、プライマリ・ケア</td> </tr> <tr> <td>運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション 訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">升田診療所</td> <td>一次医療、プライマリ・ケア</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">青沢診療所</td> <td>一次医療、プライマリ・ケア</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">松山診療所</td> <td>一次医療、プライマリ・ケア</td> </tr> <tr> <td>訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">地見興屋診療所</td> <td>一次医療、プライマリ・ケア</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">飛鳥診療所</td> <td>一次医療、プライマリ・ケア</td> </tr> </tbody> </table>	病 院 等	基 本 的 な 機 能	日本海総合病院	三次救急医療(救命救急センター)	急性期医療、災害医療、感染症医療、地域医療支援、へき地医療支援 がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・小児医療・周産期医療・精神疾患などの専門医療 これらの医療水準の向上のための教育研修	日本海酒田リハビリテーション病院	回復期・慢性期医療(在宅医療等への支援を含む)	回復期リハビリテーション・通所リハビリテーション 脳卒中回復期・維持期のリハビリテーション これらの医療水準の向上のための教育研修	日本海八幡クリニック	一次医療、プライマリ・ケア	運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション 訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	升田診療所	一次医療、プライマリ・ケア	青沢診療所	一次医療、プライマリ・ケア	松山診療所	一次医療、プライマリ・ケア	訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	地見興屋診療所	一次医療、プライマリ・ケア	飛鳥診療所	一次医療、プライマリ・ケア	<p>地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構(以下「山形県・酒田市病院機構」という。)は、「安心、信頼、高度な医療提供」、「保健、医療、福祉の地域連携」、「地域に貢献する病院経営」の基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛鳥診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。</p> <p>また、今後の医療需要の変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。</p>																											
病 院 等	基 本 的 な 機 能																																																	
日本海総合病院	三次救急医療(救命救急センター)																																																	
	急性期医療、災害医療、感染症医療、地域医療支援、へき地医療支援 がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・小児医療・周産期医療・精神疾患などの専門医療 これらの医療水準の向上のための教育研修																																																	
日本海酒田リハビリテーション病院	回復期・慢性期医療(在宅医療等への支援を含む)																																																	
	回復期リハビリテーション・通所リハビリテーション 脳卒中回復期・維持期のリハビリテーション これらの医療水準の向上のための教育研修																																																	
日本海八幡クリニック	一次医療、プライマリ・ケア																																																	
	運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション 訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																	
升田診療所	一次医療、プライマリ・ケア																																																	
青沢診療所	一次医療、プライマリ・ケア																																																	
松山診療所	一次医療、プライマリ・ケア																																																	
	訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																	
地見興屋診療所	一次医療、プライマリ・ケア																																																	
飛鳥診療所	一次医療、プライマリ・ケア																																																	
1 医療機能の分化・連携の推進	1 医療機能の分化・連携の推進																																																	
<p>山形県が策定した地域医療構想の方向性を踏まえ、庄内地域における病床の機能分化・連携を進めていく必要がある。このため、庄内地域の中核的な医療機関として、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通じた地域の医療機関等との機能分担・連携を推進し、地域医療構想の達成と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を果たすよう努めること。</p>	<p>地域の医療機関等との連携を一層推進するため、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通して、地域の中核的な医療機関として積極的に地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担う。</p>	<p>・地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。</p> <p>【実績】日本海ヘルスケアネット内の人事交流(令和3・4年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>出向元</th> <th>出向先</th> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健友会</td> <td>日本海総合病院</td> <td rowspan="3">医師</td> <td>3名</td> <td>平日診療</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td>3名</td> <td>水土日の宿日直</td> </tr> <tr> <td>医師会</td> <td>日本海酒田リハ</td> <td>2名</td> <td>宿日直</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td rowspan="2">看護師</td> <td>3名</td> <td>透析室</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>宏友会</td> <td>3名</td> <td>診療所、老健</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td>診療放射線技師</td> <td>1名</td> <td>休職者の応援※令和4年度のみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】日本海ヘルスケアネット看護管理者ネットワーク会議(令和3・4年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>活動テーマ</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「この地域を感染から守る」</td> <td>日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス 令和3年度:2施設訪問 各施設の対応やマニュアル改定に活用できるよう、感染防止対策に関する最新情報(新型コロナウイルス感染症、VRE)を毎月の会議で発信</td> </tr> <tr> <td>「北庄内地域の食支援の質の向上」</td> <td>誤嚥性肺炎予防のための知識・技術を習得するべく、専門性の高い職種が講師を担い研修会を開催 令和3年度:2回開催 令和4年度:3回開催</td> </tr> <tr> <td>目標:誤嚥性肺炎の知識・技術を修得し実践することで誤嚥性肺炎が減少する</td> <td>日本海総合病院摂食嚥下障害看護認定看護師が、令和4年12月から令和5年1月にかけて全8施設を訪問し、口腔ケア方法やOHAT等について研修、意見交換を実施</td> </tr> </tbody> </table>	出向元	出向先	職種	人数	備考	健友会	日本海総合病院	医師	3名	平日診療	病院機構	健友会	3名	水土日の宿日直	医師会	日本海酒田リハ	2名	宿日直	病院機構	健友会	看護師	3名	透析室	病院機構	宏友会	3名	診療所、老健	病院機構	健友会	診療放射線技師	1名	休職者の応援※令和4年度のみ	活動テーマ	活動内容	「この地域を感染から守る」	日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス 令和3年度:2施設訪問 各施設の対応やマニュアル改定に活用できるよう、感染防止対策に関する最新情報(新型コロナウイルス感染症、VRE)を毎月の会議で発信	「北庄内地域の食支援の質の向上」	誤嚥性肺炎予防のための知識・技術を習得するべく、専門性の高い職種が講師を担い研修会を開催 令和3年度:2回開催 令和4年度:3回開催	目標:誤嚥性肺炎の知識・技術を修得し実践することで誤嚥性肺炎が減少する	日本海総合病院摂食嚥下障害看護認定看護師が、令和4年12月から令和5年1月にかけて全8施設を訪問し、口腔ケア方法やOHAT等について研修、意見交換を実施	S	<p>○地域の医療機関等との連携を一層推進し、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通して、地域の中核的な医療機関として積極的に地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に資する役割に努めた。</p> <p>○地域フォーミュラリについては、薬剤の有効性、安全性、経済性を検討し、地域での推奨薬を12薬剤を選定し、実施した。(令和4年度末現在)</p> <p>○人事交流については、医師・看護師の人事交流を行い、参加法人の休日等の診療体制確保や職員のスキルアップに繋がった。</p> <p>○看護管理者間の連携強化については、看護管理者間で連携し、地域が抱える様々な課題の解決に取り組み、質の高い看護・介護サービスを提供することを目的に活動テーマを決め、活動を行った。</p>	A	S	S	—	S	自己評定のとおりに
出向元	出向先	職種	人数	備考																																														
健友会	日本海総合病院	医師	3名	平日診療																																														
病院機構	健友会		3名	水土日の宿日直																																														
医師会	日本海酒田リハ		2名	宿日直																																														
病院機構	健友会	看護師	3名	透析室																																														
病院機構	宏友会		3名	診療所、老健																																														
病院機構	健友会	診療放射線技師	1名	休職者の応援※令和4年度のみ																																														
活動テーマ	活動内容																																																	
「この地域を感染から守る」	日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス 令和3年度:2施設訪問 各施設の対応やマニュアル改定に活用できるよう、感染防止対策に関する最新情報(新型コロナウイルス感染症、VRE)を毎月の会議で発信																																																	
「北庄内地域の食支援の質の向上」	誤嚥性肺炎予防のための知識・技術を習得するべく、専門性の高い職種が講師を担い研修会を開催 令和3年度:2回開催 令和4年度:3回開催																																																	
目標:誤嚥性肺炎の知識・技術を修得し実践することで誤嚥性肺炎が減少する	日本海総合病院摂食嚥下障害看護認定看護師が、令和4年12月から令和5年1月にかけて全8施設を訪問し、口腔ケア方法やOHAT等について研修、意見交換を実施																																																	

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評定																																	
			自己 評定	評定の理由等	年度毎の評定				評定	評価																												
					R2	R3	R4	R5																														
2 持続的・安定的な医療の提供及び医療水準の向上	2 持続的・安定的な医療の提供及び医療水準の向上																																					
(1)高度専門医療・回復期医療等の充実・強化	(1)高度専門医療・回復期医療等の充実・強化																																					
<p>日本海総合病院は、庄内地域の中核的な医療機関として、急性期医療や高度専門医療等の充実に努めること。</p> <p>日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期・慢性期医療の充実に努めるとともに、介護・福祉施設等との連携強化を図ること。</p> <p>日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関であることから、一次医療及びプライマリ・ケアを提供するとともに、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介する橋渡し機能を果たすこと。</p>	<p>① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実など、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組む。</p> <p>入院支援センターの活用や診療情報の共有化などにより、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の実現を目指す。</p> <p>◆日本海総合病院(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>病床稼働率</td><td>毎年度76%以上</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	病床稼働率	毎年度76%以上	<p>・日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室での手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療等の高度専門医療の充実に努めるとともに、併せてDPC特定病院群の適用の維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。</p> <p>・入院支援センターの活用や、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の活用による診療情報の共有化などにより、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設まで切れ目のない医療を提供した。</p> <p>◆日本海総合病院(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>・目標である病床稼働率について、令和2年度に新型コロナウイルス感染症による影響から目標値を下回ったが、令和3・4年度は目標値を上回った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症患者を考慮しない場合の病床稼働率は、令和2年度から毎年度80%以上と目標値を上回ることができた。</p> <p>【実績】病床稼働率(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> <tr><td>73.7%</td><td>×</td><td>76.8%</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>76.8%</td><td>○</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	73.7%	×	76.8%	○			76.8%	○	A	<p>○日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実など、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。</p> <p>○ハイブリッド手術室での手術件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 210件 令和3年度 179件 令和4年度 190件 <p>○ロボット支援手術件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 75件 令和3年度 80件 令和4年度 130件 <p>○放射線治療件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 5,978件 令和3年度 6,577件 令和4年度 6,582件 <p>○入院支援センターを活用し、看護師・管理栄養士・薬剤師・医療事務等の多職種の職員が関わり、早期退院だけでなく、退院後の在宅や介護施設の調整等、切れ目のないサポートを行った。</p> <p>○令和4年2月には、(公財)日本医療機能評価機構から主たる機能「一般病院2」(機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0)に認定された。</p>	A	A	A	—	A	自己評定のとおりに
項目	概要																																					
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																					
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																					
目標とする指標	目標値																																					
病床稼働率	毎年度76%以上																																					
項目	概要																																					
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																					
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																			
73.7%	×	76.8%	○																																			
		76.8%	○																																			
	<p>② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。</p> <p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>【目標】日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>回復期リハビリテーション実績指数</td><td>毎年度40点以上</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上	<p>・日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担い、回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供し、慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行った。</p> <p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合があります</p> <p>・目標である回復期リハビリテーション実績指数について、目標値を大幅に上回ることができた。</p> <p>【実績】回復期リハビリテーション実績指数(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <tr><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> <tr><td>47.5点</td><td>○</td><td>46.7点</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>46.4点</td><td>○</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	47.5点	○	46.7点	○			46.4点	○	S	<p>○日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期・慢性期医療の充実に努め、介護・福祉施設等との連携強化を図った。</p> <p>○回復期医療では、在宅復帰に向け継続してリハビリが必要な患者さんに対して、日常生活機能の維持・向上をめざし、医師・看護師・介護士・看護補助者・病棟リハビリスタッフ・管理栄養士・薬剤師がチームで情報を共有し、患者の個別性に合わせケアを提供した。</p> <p>○慢性期医療では、患者や家族の思いを受け止め、安心した入院生活が送れるように援助や環境整備に努めた。</p>	S	S	S	—	S	自己評定のとおりに
項目	概要																																					
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																					
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																					
目標とする指標	目標値																																					
回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上																																					
項目	概要																																					
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																					
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																			
47.5点	○	46.7点	○																																			
		46.4点	○																																			

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																																																																																																																									
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																																																																																																																				
					R2	R3	R4	R5																																																																																																																						
	<p>③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供する。</p> <p>◆日本海八幡クリニック(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	項目	概要	標榜科	内科	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	<p>・日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供した。</p> <p>◆日本海八幡クリニック(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>【実績】日本海八幡クリニック</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>15,876名</td><td>16,355名</td><td>16,315名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>54.2名</td><td>55.6名</td><td>56.1名</td></tr> </table> <p>【実績】訪問看護ステーションやわた</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延利用者数</td><td>3,525名</td><td>3,193名</td><td>3,501名</td></tr> <tr><td>1日平均利用者数</td><td>11.4名</td><td>9.4名</td><td>10.1名</td></tr> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>【実績】升田診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>※令和2～4年度受診希望者なし</p> <p>【実績】青沢診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>51名</td><td>62名</td><td>69名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>4.3名</td><td>5.2名</td><td>5.8名</td></tr> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和4年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr> </table> <p>【実績】松山診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>3,504名</td><td>3,456名</td><td>2,929名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>17.1名</td><td>14.6名</td><td>18.5名</td></tr> </table> <p>【実績】地見興屋診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>153名</td><td>111名</td><td>88名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>4.0名</td><td>2.9名</td><td>4.4名</td></tr> </table> <p>【実績】飛鳥診療所</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>延外来患者数</td><td>518名</td><td>458名</td><td>422名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>3.4名</td><td>2.6名</td><td>2.7名</td></tr> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	15,876名	16,355名	16,315名	1日平均外来患者数	54.2名	55.6名	56.1名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延利用者数	3,525名	3,193名	3,501名	1日平均利用者数	11.4名	9.4名	10.1名	項目	概要	標榜科	内科	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	—	—	—	1日平均外来患者数	—	—	—	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	51名	62名	69名	1日平均外来患者数	4.3名	5.2名	5.8名	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	3,504名	3,456名	2,929名	1日平均外来患者数	17.1名	14.6名	18.5名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	153名	111名	88名	1日平均外来患者数	4.0名	2.9名	4.4名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	延外来患者数	518名	458名	422名	1日平均外来患者数	3.4名	2.6名	2.7名	B	<p>○日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。</p> <p>○日本海八幡クリニックでは、平日夜間延長診療、土曜診療の実施、訪問診察、訪問看護を提供した。</p> <p>○飛鳥診療所は 日本海総合病院の医師による出張診療や遠隔診療を行った。</p>	A	A	B	—	B	自己評価のとおり
項目	概要																																																																																																																													
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																													
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																													
項目	概要																																																																																																																													
標榜科	内科																																																																																																																													
項目	概要																																																																																																																													
標榜科	内科、外科																																																																																																																													
診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																													
項目	概要																																																																																																																													
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																													
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																													
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																											
延外来患者数	15,876名	16,355名	16,315名																																																																																																																											
1日平均外来患者数	54.2名	55.6名	56.1名																																																																																																																											
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																											
延利用者数	3,525名	3,193名	3,501名																																																																																																																											
1日平均利用者数	11.4名	9.4名	10.1名																																																																																																																											
項目	概要																																																																																																																													
標榜科	内科																																																																																																																													
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																											
延外来患者数	—	—	—																																																																																																																											
1日平均外来患者数	—	—	—																																																																																																																											
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																											
延外来患者数	51名	62名	69名																																																																																																																											
1日平均外来患者数	4.3名	5.2名	5.8名																																																																																																																											
項目	概要																																																																																																																													
標榜科	内科、外科																																																																																																																													
診療機能等	松山診療所:訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																													
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																											
延外来患者数	3,504名	3,456名	2,929名																																																																																																																											
1日平均外来患者数	17.1名	14.6名	18.5名																																																																																																																											
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																											
延外来患者数	153名	111名	88名																																																																																																																											
1日平均外来患者数	4.0名	2.9名	4.4名																																																																																																																											
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																											
延外来患者数	518名	458名	422名																																																																																																																											
1日平均外来患者数	3.4名	2.6名	2.7名																																																																																																																											
①診療体制の充実	ア 診療体制の充実 (ア)救急医療																																																																																																																													
<p>制度改正、医療施策の将来動向、今後の医療需要の変化及び新たな医療課題に適切に対応していくため、患者動向や医療ニーズの変化に即し、他の医療機関との連携や診療部門の充実及び見直しを行うこと。</p> <p>また、日本海八幡クリニックにおいては、地域のニーズを把握しながら、リハビリテーションの充実を図ること。</p>	<p>庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努め、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、夜間救急の診療体制を維持する。</p> <p>・庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される医療の提供に努めた。また、救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、高度な処置が必要となる重篤な患者に対する三次救急診療を日本海総合病院の医師が担い、夜間救急外来での一次救急診療については一般社団法人酒田地区医師会十全堂所属の医師が担当し、夜間救急の診療体制を維持した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響下においても、救急医療の提供体制を維持し、救命救急センターの責務を果たせた。</p> <p>【実績】救命救急センター延べ患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>17,141名</td><td>19,861名</td><td>19,662名</td></tr> </table> <p>【実績】酒田地区医師会診療支援による延べ患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>小児科</td><td>23名</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>その他</td><td>198名</td><td>131名</td><td>98名</td></tr> </table> <p>※令和2年10月から小児夜間診療休止</p> <p>【実績】救急車の搬送数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th></tr> <tr><td>酒田地区 医療機関への搬送数 計</td><td>4,825名</td><td>5,106名</td><td>5,418名</td></tr> <tr><td>うち日本海総合病院への搬送数</td><td>2,852名</td><td>3,133名</td><td>3,645名</td></tr> <tr><td>鶴岡地区 医療機関への搬送数 計</td><td>4,907名</td><td>5,161名</td><td>5,334名</td></tr> <tr><td>うち日本海総合病院への搬送数</td><td>361名</td><td>337名</td><td>314名</td></tr> <tr><td>庄内地域での日本海総合病院の割合</td><td>33.0%</td><td>33.8%</td><td>36.8%</td></tr> <tr><td>救急搬送受入要請の応需率 ※</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr> </table> <p>※令和2年度から算出開始</p>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	17,141名	19,861名	19,662名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	小児科	23名	—	—	その他	198名	131名	98名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	酒田地区 医療機関への搬送数 計	4,825名	5,106名	5,418名	うち日本海総合病院への搬送数	2,852名	3,133名	3,645名	鶴岡地区 医療機関への搬送数 計	4,907名	5,161名	5,334名	うち日本海総合病院への搬送数	361名	337名	314名	庄内地域での日本海総合病院の割合	33.0%	33.8%	36.8%	救急搬送受入要請の応需率 ※	100%	100%	100%	A	<p>○令和2年度では、新型コロナウイルス感染症による外出控えの影響が、救急患者数が減少した。</p> <p>○令和3年度では、新型コロナウイルス感染症の拡大により、救急受診患者数が前年度と比べ2,720名増加し、それに伴い重症患者の受診(※帰宅患者以外)割合も増加する結果となった。</p> <p>○令和4年度では、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う救急患者数の増加が顕著にあらわれた。</p> <p>○令和2～4年度については、新型コロナウイルス感染症への対応を継続しながら、重篤な患者に対する三次救急診療を日本海総合病院の医師が担い、夜間救急外来での初期救急については一般社団法人酒田地区医師会十全堂からの応援医師が担当するなど、救命救急センターとして24時間365日救急医療の提供体制を維持した。</p>	A	A	A	—	A	自己評価のとおり																																																																							
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																												
17,141名	19,861名	19,662名																																																																																																																												
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																											
小児科	23名	—	—																																																																																																																											
その他	198名	131名	98名																																																																																																																											
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																																											
酒田地区 医療機関への搬送数 計	4,825名	5,106名	5,418名																																																																																																																											
うち日本海総合病院への搬送数	2,852名	3,133名	3,645名																																																																																																																											
鶴岡地区 医療機関への搬送数 計	4,907名	5,161名	5,334名																																																																																																																											
うち日本海総合病院への搬送数	361名	337名	314名																																																																																																																											
庄内地域での日本海総合病院の割合	33.0%	33.8%	36.8%																																																																																																																											
救急搬送受入要請の応需率 ※	100%	100%	100%																																																																																																																											

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																																																																						
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																																																																	
					R2	R3	R4	R5																																																																			
	(イ)がん医療																																																																										
	<p>患者の状態に応じ、より適切で効果的ながん医療を提供するため、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。また、緩和ケアセンターを中心とした体制の下、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。さらに、がん対策の進展に貢献するため、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。</p> <p>・地域がん診療連携拠点病院として、手術や放射線療法、化学療法などの集学的治療を継続して行った。 ・令和4年4月から強度変調放射線治療(IMRT)の算定を開始したことにより、IMRTや定位放射線治療(SRT)といった高度な治療の件数が増加した。</p> <p>【実績】手術、放射線療法、外来化学療法件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術</td> <td>1,149件</td> <td>1,167件</td> <td>1,156件</td> </tr> <tr> <td>放射線療法 (実件数)</td> <td>5,978件 (241件)</td> <td>6,577件 (240件)</td> <td>6,582件 (184件)</td> </tr> <tr> <td>うちIMRT (実件数)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,639件 (73件)</td> </tr> <tr> <td>うちSRT (実件数)</td> <td>40件 (10件)</td> <td>30件 (9件)</td> <td>27件 (9件)</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法</td> <td>7,114件</td> <td>7,730件</td> <td>7,503件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がん対策の進展に貢献するよう、中級認定者を専従として1名配置し、院内がん登録及び全国がん登録を実施した。</p> <p>【実績】がん登録件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内がん登録</td> <td>1,874件</td> <td>1,881件</td> <td>1,961件</td> </tr> <tr> <td>全国がん登録</td> <td>1,885件</td> <td>1,891件</td> <td>1,969件</td> </tr> <tr> <td>庄内地域での 日本海総合病院の割合 ※</td> <td>69.0%</td> <td>72.2%</td> <td>67.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※国立がん研究センター院内がん登録全国集計から算出</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	手術	1,149件	1,167件	1,156件	放射線療法 (実件数)	5,978件 (241件)	6,577件 (240件)	6,582件 (184件)	うちIMRT (実件数)	-	-	2,639件 (73件)	うちSRT (実件数)	40件 (10件)	30件 (9件)	27件 (9件)	外来化学療法	7,114件	7,730件	7,503件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	院内がん登録	1,874件	1,881件	1,961件	全国がん登録	1,885件	1,891件	1,969件	庄内地域での 日本海総合病院の割合 ※	69.0%	72.2%	67.0%	<p>・地域がん診療連携拠点病院として、手術や放射線療法、化学療法などの集学的治療を継続して行った。</p> <p>○患者の状態を考慮し、より効果が高い治療を提供に努め、特に放射線療法においてはIMRTやSRTの高度な治療の件数が増加した。</p> <p>○緩和ケアスクリーニングを実施し、緩和ケア医療の充実に努めた。</p> <p>○国の指針に基づき、毎年度、医師等に対する緩和ケア研修会を開催し、緩和ケア医療の体制の強化を図った。</p> <p>○中級認定者を専従で1名配置し、院内がん登録及び全国がん登録を実施した。</p> <p>○毎年度、山形県がん診療連携協議会が開催する実務者研修会へ参加し、体制の強化を図った。</p>	A	A	A	-	A	自己評価のとおり																											
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																								
手術	1,149件	1,167件	1,156件																																																																								
放射線療法 (実件数)	5,978件 (241件)	6,577件 (240件)	6,582件 (184件)																																																																								
うちIMRT (実件数)	-	-	2,639件 (73件)																																																																								
うちSRT (実件数)	40件 (10件)	30件 (9件)	27件 (9件)																																																																								
外来化学療法	7,114件	7,730件	7,503件																																																																								
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																								
院内がん登録	1,874件	1,881件	1,961件																																																																								
全国がん登録	1,885件	1,891件	1,969件																																																																								
庄内地域での 日本海総合病院の割合 ※	69.0%	72.2%	67.0%																																																																								
	(ウ)脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患																																																																										
	<p>① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。</p> <p>・急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努めた。また、継続して休日のリハビリテーションを提供した。</p> <p>【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管</td> <td>733名</td> <td>43,815回</td> <td>763名</td> <td>45,582回</td> <td>851名</td> <td>48,047回</td> </tr> <tr> <td>心大血管</td> <td>689名</td> <td>14,400回</td> <td>639名</td> <td>10,849回</td> <td>638名</td> <td>9,731回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】休日のリハビリテーション実施状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管</td> <td>630名</td> <td>5,650回</td> <td>695名</td> <td>5,660回</td> <td>612名</td> <td>2,706回</td> </tr> <tr> <td>心大血管</td> <td>500名</td> <td>1,578回</td> <td>440名</td> <td>1,213回</td> <td>395名</td> <td>757回</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整える。</p> <p>・脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整え、医師・看護師・メディカルスタッフと連携し、適切かつ速やかな治療を提供した。</p> <p>【実績】血栓回収療法、t-PA実施件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血栓回収療法</td> <td>2件</td> <td>5件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>t-PA</td> <td>16件</td> <td>26件</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	733名	43,815回	763名	45,582回	851名	48,047回	心大血管	689名	14,400回	639名	10,849回	638名	9,731回	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	630名	5,650回	695名	5,660回	612名	2,706回	心大血管	500名	1,578回	440名	1,213回	395名	757回	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	血栓回収療法	2件	5件	4件	t-PA	16件	26件	18件	<p>○機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努め、休日のリハビリテーションを提供を継続した。</p> <p>○令和2年度から脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整え、適切かつ速やかな治療を提供した。</p>	B	A	A	B	-	B	自己評価のとおり
区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度																																																																						
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																																					
脳血管	733名	43,815回	763名	45,582回	851名	48,047回																																																																					
心大血管	689名	14,400回	639名	10,849回	638名	9,731回																																																																					
区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度																																																																						
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																																					
脳血管	630名	5,650回	695名	5,660回	612名	2,706回																																																																					
心大血管	500名	1,578回	440名	1,213回	395名	757回																																																																					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																								
血栓回収療法	2件	5件	4件																																																																								
t-PA	16件	26件	18件																																																																								

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																																																																
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																																																											
					R2	R3	R4	R5																																																													
	③ 酒田地区広域行政組合消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	<p>・酒田及び鶴岡地区管内全ての救急隊に配備されている12誘導心電図伝送システムを活用し、重篤患者の治療を行った。</p> <p>【実績】12誘導心電図伝送件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>271件</td> <td>348件</td> <td>357件</td> </tr> </table> <p>※酒田地区:平成31年2月から運用開始 ※鶴岡地区:令和2年12月から運用開始</p> <p>・急性心筋梗塞の救急搬送患者に対して、速やかに集中治療室に転送し、迅速な救命治療を実施した。また、病院に到着する前に院内放送で心筋梗塞チームを参集し、救急搬送直後から治療にとりかかるシステムを構築し、運用している。</p> <p>【実績】経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>急性心筋梗塞に対するもの</td> <td>43件</td> <td>42件</td> <td>44件</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	271件	348件	357件	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	急性心筋梗塞に対するもの	43件	42件	44件		<p>○酒田地区広域行政組合消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用し、心筋梗塞等の早期診断に努めた。令和2年12月からは、鶴岡地区管内にも12誘導心電図伝送装置が配備され、重篤患者の広域搬送及び治療をすることが可能となった。</p> <p>○急性心筋梗塞の救急患者に対して、医師や看護師等が連携し、速やかに集中治療室に転送するとともに、迅速な救命治療を実施した。また、院内においては、心筋梗塞チームの参集の放送を行い、救急搬送直後から迅速に治療にとりかかるシステムの構築し、運用している。</p>																																																			
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																			
271件	348件	357件																																																																			
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																		
急性心筋梗塞に対するもの	43件	42件	44件																																																																		
	(エ)糖尿病																																																																				
	<p>医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。</p> <p>【実績】糖尿病教室(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>23名</td> <td>28名</td> <td>34名</td> </tr> </table> <p>【実績】糖尿病透析予防指導の実患者数、指導回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>実患者数</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>指導回数</td> <td>29回</td> <td>25回</td> <td>10回</td> </tr> </table> <p>【実績】教育入院患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>69名</td> <td>119名</td> <td>239名</td> <td>217人</td> </tr> </table> <p>【実績】個別栄養指導件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>335件</td> <td>482件</td> <td>443件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>223件</td> <td>220件</td> <td>219件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>558件</td> <td>702件</td> <td>662件</td> </tr> </table> <p>・目標である糖尿病教室について、新型コロナウイルス感染症による影響から目標値を下回った。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr> <td>目標とする指標</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>糖尿病教室</td> <td>毎年度15回以上</td> </tr> </table> <p>【実績】糖尿病教室(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>10回</td> <td>×</td> <td>10回</td> <td>×</td> </tr> </table>	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	開催回数	10回	10回	13回	参加人数	23名	28名	34名	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実患者数	6名	5名	3名	指導回数	29回	25回	10回	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	69名	119名	239名	217人	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	入院	335件	482件	443件	外来	223件	220件	219件	合 計	558件	702件	662件	目標とする指標	目標値	糖尿病教室	毎年度15回以上	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	10回	×	10回	×	B	○医師・看護師・管理栄養士等が協働し、糖尿病教室等の患者教育・指導を毎年度、継続して行った。	B	B	B	—	B	自己評価のとおり
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																		
開催回数	10回	10回	13回																																																																		
参加人数	23名	28名	34名																																																																		
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																		
実患者数	6名	5名	3名																																																																		
指導回数	29回	25回	10回																																																																		
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																		
69名	119名	239名	217人																																																																		
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																		
入院	335件	482件	443件																																																																		
外来	223件	220件	219件																																																																		
合 計	558件	702件	662件																																																																		
目標とする指標	目標値																																																																				
糖尿病教室	毎年度15回以上																																																																				
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																		
10回	×	10回	×																																																																		
	(オ)精神疾患																																																																				
	地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき精神医療を提供する。	<p>・地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき医療を提供した。</p> <p>【実績】他の精神科病院から日本海総合病院に紹介等され入院した患者数</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>45名</td> <td>51名</td> <td>64名</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	45名	51名	64名	B	○地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき医療を提供した。	B	B	B	—	B	自己評価のとおり																																																					
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																			
45名	51名	64名																																																																			
	(カ)小児・周産期医療																																																																				
	① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受入れを行う。	<p>・二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩への対応など、周産期に係る高度な産科医療を提供した。また、新型コロナウイルス感染症の妊婦の分娩を実施した。</p> <p>【実績】母体・新生児救急搬送患者数等状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>母体</td> <td>10名</td> <td>17名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>新生児</td> <td>6名</td> <td>10名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>緊急帝王切開術</td> <td>38件</td> <td>33件</td> <td>56件</td> </tr> </table>	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	母体	10名	17名	10名	新生児	6名	10名	2名	緊急帝王切開術	38件	33件	56件	A	<p>○他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩への対応など、周産期に係る高度な産科医療を提供した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症妊婦の分娩件数 ・令和3年度 2件 ・令和4年度 15件</p>	B	A	A	—	A	自己評価のとおり																																											
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																		
母体	10名	17名	10名																																																																		
新生児	6名	10名	2名																																																																		
緊急帝王切開術	38件	33件	56件																																																																		
	② 地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。	<p>・産婦人科専門医4名及び小児科専門医4名の体制により、地域の住民が安心して出産できる環境を提供した。</p> <p>・三次周産期医療機関である山形県立中央病院及び鶴岡市立荘内病院との連携を図り、母体・新生児の救急搬送を適切に行った。</p> <p>【実績】母体・新生児の救急搬送患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>母体</td> <td>12名</td> <td>7名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>新生児</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> </tr> </table>	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	母体	12名	7名	12名	新生児	2名	0名	2名		<p>○産科及び小児科の専門医の充実した体制により、地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう、良質な医療を提供した。</p> <p>○山形県立中央病院及び鶴岡市立荘内病院との連携により、母体・新生児の救急搬送を適切に行った。</p>																																																					
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																		
母体	12名	7名	12名																																																																		
新生児	2名	0名	2名																																																																		

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																																																	
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																																												
					R2	R3	R4	R5																																														
	(キ)回復期リハビリテーション																																																					
	脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供した。 【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海酒田リハビリテーション病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管リハ</td> <td>236名</td> <td>87,764回</td> <td>237名</td> <td>86,837回</td> <td>245名</td> <td>83,159回</td> </tr> <tr> <td>運動器リハ</td> <td>200名</td> <td>54,944回</td> <td>221名</td> <td>57,168回</td> <td>206名</td> <td>57,561回</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管リハ	236名	87,764回	237名	86,837回	245名	83,159回	運動器リハ	200名	54,944回	221名	57,168回	206名	57,561回	A	○入院当日より訓練を開始し、早期回復・在宅復帰を目的とし毎日集中的にリハビリテーションを行った。	A	A	A	—	A	自己評価のとおり																	
区分	令和2年度			令和3年度		令和4年度																																																
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																
脳血管リハ	236名	87,764回	237名	86,837回	245名	83,159回																																																
運動器リハ	200名	54,944回	221名	57,168回	206名	57,561回																																																
	(ク)在宅医療支援及び療養支援																																																					
	① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、入院初期から積極的に支援を行う。	・退院支援においては、入退院支援センター看護師、医療・福祉センターの社会福祉士が共同し、切れ目なくサービスが受けられるよう、地域の介護・福祉・医療機関等との連携を行った。退院困難の事例においては、多職種によるカンファレンスを行い、患者が住み慣れた地域での暮らし、患者家族が望む退院先を自己決定できるように支援を行った。 【実績】入院前スクリーニング実施件数(日本海総合病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他病院</td> <td>6,317名</td> <td>5,752名</td> <td>5,525名</td> </tr> </tbody> </table> 【実績】退院調整件数(日本海総合病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他病院</td> <td>925件</td> <td>927件</td> <td>994件</td> </tr> <tr> <td>在宅</td> <td>12,426件</td> <td>12,862件</td> <td>12,351件</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>95件</td> <td>134件</td> <td>142件</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>131件</td> <td>106件</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>ショートステイ</td> <td>91件</td> <td>120件</td> <td>135件</td> </tr> <tr> <td>有料老人ホーム</td> <td>216件</td> <td>261件</td> <td>260件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>110件</td> <td>68件</td> <td>50件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,994件</td> <td>14,478件</td> <td>14,032件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	他病院	6,317名	5,752名	5,525名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	他病院	925件	927件	994件	在宅	12,426件	12,862件	12,351件	介護老人保健施設	95件	134件	142件	介護老人福祉施設	131件	106件	100件	ショートステイ	91件	120件	135件	有料老人ホーム	216件	261件	260件	その他	110件	68件	50件	合計	13,994件	14,478件	14,032件	A	○新型コロナウイルス感染症の影響下においても、関係各所と連携を密に図ることで、患者や患者家族が希望する退院先への調整を行った。 ○入退院支援センターにおいては、入院前より退院困難な要因の抽出を行い、経済的な問題等があれば、早期に社会福祉士へ情報提供、また、在宅療養への不安がある患者については、入院前から退院支援看護師が介護保険の説明等を行い、不安軽減に努めた。 ○退院後においても、在宅療養で不安や問題が生じた際には、患者、家族からの相談にも応じ、在宅医や訪問看護、ケアマネジャー等とも情報共有を行い、継続した支援を実施した。	A	A	A	—	A	自己評価のとおり
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																			
他病院	6,317名	5,752名	5,525名																																																			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																			
他病院	925件	927件	994件																																																			
在宅	12,426件	12,862件	12,351件																																																			
介護老人保健施設	95件	134件	142件																																																			
介護老人福祉施設	131件	106件	100件																																																			
ショートステイ	91件	120件	135件																																																			
有料老人ホーム	216件	261件	260件																																																			
その他	110件	68件	50件																																																			
合計	13,994件	14,478件	14,032件																																																			
	② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、通所及び訪問リハビリテーションを実施する。また、在宅医療を行っている診療所等で、入院治療が必要となった患者の受入れなどの支援を行う。	・在宅患者が安心して地域で療養できるように、通所リハビリテーションを実施した。 【実績】通所及び訪問リハビリテーション延べ利用者数(日本海酒田リハビリテーション病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通所リハ</td> <td>3,841名</td> <td>3,095名</td> <td>1,141名</td> </tr> <tr> <td>訪問リハ</td> <td>229名</td> <td>179名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table> ※訪問リハビリテーション:令和4年1月から休止 ※通所リハビリテーション:令和4年10月から休止 ・在宅医療を行っている診療所等と連携を図り、入院治療が必要となった患者の受入を適切に行い、レスパイト入院等が増加した。 【実績】診療所等からの入院受入患者数(日本海酒田リハビリテーション病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他病院</td> <td>6名</td> <td>28名</td> <td>32名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	通所リハ	3,841名	3,095名	1,141名	訪問リハ	229名	179名	0名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	他病院	6名	28名	32名		○在宅医療を行っている診療所等と連携を図り、入院治療が必要となった患者の受入を適切に行い、レスパイト入院等が増加した。																														
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																			
通所リハ	3,841名	3,095名	1,141名																																																			
訪問リハ	229名	179名	0名																																																			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																			
他病院	6名	28名	32名																																																			
	(ケ)一次医療とプライマリ・ケアの提供、充実																																																					
	へき地医療等、地域医療の維持、確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。	・診療所が設置されている各地域において、へき地医療等、地域医療の維持、確保を図り、一次医療の提供を行った。また、各診療所においては、総合診療を行うプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関に紹介する等、連携した医療の提供を行った。 【実績】日本海総合病院への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>321件</td> <td>337件</td> <td>347件</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>86件</td> <td>80件</td> <td>52件</td> </tr> <tr> <td>飛鳥診療所</td> <td>15件</td> <td>15件</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table> 【実績】日本海総合病院以外への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>123件</td> <td>132件</td> <td>87件</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>28件</td> <td>22件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>飛鳥診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	日本海八幡クリニック	321件	337件	347件	松山診療所	86件	80件	52件	飛鳥診療所	15件	15件	7件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	日本海八幡クリニック	123件	132件	87件	松山診療所	28件	22件	12件	飛鳥診療所	—	—	5件	B	○診療所が設置されている各地域において、一次医療の提供を行い、必要に応じて、高度及び専門医療機関に紹介する等、連携を行った。	B	B	B	—	B	自己評価のとおり												
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																			
日本海八幡クリニック	321件	337件	347件																																																			
松山診療所	86件	80件	52件																																																			
飛鳥診療所	15件	15件	7件																																																			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																			
日本海八幡クリニック	123件	132件	87件																																																			
松山診療所	28件	22件	12件																																																			
飛鳥診療所	—	—	5件																																																			
②高度医療機器の計画的な更新・整備	イ 高度医療機器の計画的な更新・整備																																																					
庄内地域において日本海総合病院に求められる高度専門医療等を継続的に提供できるよう、必要な医療機器の更新・整備を計画的に進め、その有効な利用に努めること。	高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新、整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新、整備を行う。	・高度専門医療機関等の医療機器の更新にあたっては、整備計画を策定し、それに従い整備を行った。財源としては起債及び剰余金を活用した。	B	○起債及び剰余金を活用し、計画的に更新を行った。 ・令和2年度 全身用X線CT診断装置、脳腹部血管造影撮影装置等 ・令和3年度 超電導磁気共鳴画像診断装置、手術用顕微鏡等 ・令和4年度 フルデジタルガンマカメラ等	B	B	B	—	B	自己評価のとおり																																												

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価											
					R2	R3	R4	R5													
③災害時や健康危機における医療協力	ウ 災害時や健康危機における医療協力																				
<p>日本海総合病院は、災害拠点病院としての機能を十分発揮できるよう、平時から医療物資の備蓄や定期的な訓練の実施など、災害時医療体制の充実強化を図るとともに、災害発生時には、災害拠点病院として自らの役割を果たすほか、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)の現地派遣やSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営等、積極的に医療支援活動の実施等に協力すること。</p> <p>また、新型インフルエンザ等を含む新たな感染症の発生など、地域住民の生命、健康の安全を脅かす健康危機事象が発生したときは、関係機関と密接に連携しながら迅速な対応に努め、庄内地域の中心的役割を担うこと。</p>	<p>① 災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。また大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。</p> <p>② 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、定期的に訓練や研修を行う。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、動画配信による研修会等を開催し、災害拠点病院として機能するよう、災害時の対応に備えた。災害時に必要な備蓄については、医療物資等及び食料の備蓄を実施するとともに、燃料等の優先納入契約に関する協定を継続した。</p> <p>・大規模災害発生時に、県の要請等によるDMAT(災害派遣医療チーム)の現地派遣要請へ備え、大規模地震時医療活動訓練や各種研修会に参加し、職員の技能維持等に取り組んだ。</p> <p>・SCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営協力として、山形県所有のSCU医療資材について、日本海総合病院で保管・点検等を実施し、緊急時に備えた。</p> <p>・地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応を行った。</p> <p>・山形県等の要請により、感染管理に精通した医師や看護師等で構成する感染症専門班等をクラスター発生施設に派遣し、感染管理助言等の支援を行った。</p>	A	<p>○新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、代替の研修会や動画配信による研修会を開催し、令和4年度には机上訓練を行い、災害拠点病院として機能するよう、災害時の対応に備えた。</p> <p>○医療物資等や食料の備蓄、燃料等の優先納入契約に関する協定等を適切に行った。</p> <p>○大規模地震時医療活動訓練や各種研修会に参加し、職員の技能維持等に取り組んだ。</p> <p>○山形県所有のSCU医療資材について、日本海総合病院で保管と点検等を実施し、緊急時に備えた。</p> <p>○令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症影響により、関係機関と合同訓練等は実施できなかったが、ウェブ会議を通して、定期的に庄内保健所や地域の医療関係者、各自治体と感染症発生状況等の情報共有を行い、関係機関との連携体制を構築した。</p> <p>○令和4年度は、日本海総合病院、鶴岡市立庄内病院、庄内保健所の3機関が主催となり、新興感染症等の発生を想定した合同訓練をオンライン形式で実施した。</p> <p>○山形県等の要請により、令和3・4年度に感染管理に精通した医師や看護師等で構成する感染症専門班等をクラスター発生施設に派遣し、感染管理助言等の支援を行った。</p>	B	A	A	—	A	自己評価のとおり											
	<p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>災害等に係る訓練及び研修</td> <td>毎年度4回以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	災害等に係る訓練及び研修	毎年度4回以上	<p>【実績】災害等に係る訓練及び研修回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>×</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>・目標である災害等に係る訓練及び研修について、目標値どおり実施することができた。</p>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3回	×	4回	○							
目標とする指標	目標値																				
災害等に係る訓練及び研修	毎年度4回以上																				
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																		
3回	×	4回	○																		
④政策医療の実施	エ 政策医療の実施																				
<p>救急医療、災害医療及びへき地医療のほか、感染症医療、認知症疾患を含む精神医療など、政策医療の実施機関として、不足する救急・産科・小児等をはじめとする医師の確保に努め、関係機関と連携しながら中心的役割を担うこと。</p>	<p>① 第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ的確に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。</p>	<p>・第二種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症接触者の検体採取及び陽性者の診察を積極的に受入れた。また、重点医療機関として専用病床を確保し、新型コロナウイルス感染症患者の診察及び入院受け入れを行った。</p> <p>・令和3年度には、新型コロナウイルス感染症の透析治療患者を受入れるため、専用病床内に透析治療用の病室を整備し、迅速かつ的確に対応した。</p>	S	<p>○新型コロナウイルス感染症以外の二類感染症患者の受け入れを迅速かつ的確に対応し、継続して行った。</p> <p>○二類感染症患者入院診療加算延べ算定患者数(新型コロナウイルス感染症患者除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 273名 令和3年度 118名 令和4年度 59名 <p>○新型コロナウイルス感染症に係る検査延べ人数</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 986名 令和3年度 6,403名 令和4年度 21,630名 <p>○新型コロナウイルス感染症による延べ入院患者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 772名 令和3年度 3,336名 令和4年度 3,386名 	S	S	S	—	S	自己評価のとおり											

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価				設立団体による評定																																				
			自己 評定	評定の理由等	年度毎の評定				評定	評価																																	
					R2	R3	R4	R5																																			
	② 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。	・認知症疾患医療センターとして、認知症患者の状況等に応じた専門医療相談、鑑別診断等を実施した。 【実績】認知症疾患医療センター相談件数(日本海総合病院) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>315件</td> <td>442件</td> <td>435件</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>218件</td> <td>207件</td> <td>250件</td> </tr> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	新規	315件	442件	435件	継続	218件	207件	250件	B	○認知症患者の状況等に応じた専門医療相談、鑑別診断等を実施した。	B	B	B	—	B	自己評定のとおりに																					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																								
新規	315件	442件	435件																																								
継続	218件	207件	250件																																								
	③ 精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制をより充実させるため、精神病床設置について検討する。	・精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制の充実のための精神病床設置について、新型コロナウイルス感染症の動向等を鑑み、検討を保留することとした。	B	○精神病床設置については、新型コロナウイルス感染症の動向等を鑑み、検討を保留することとした。	B	B	B	—	B	自己評定のとおりに																																	
	④ 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に研修等を実施する。	・山形県臓器移植推進機構の協力を得ながら、院内コーディネーター及び関係部門による臓器提供のシミュレーション等を実施した。 【令和2年度-実績】臓器移植研修会（日本海総合病院） <table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>研修名</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>令和3年3月2日</td> <td>法的脳死判定より ①事前準備 ②脳波測定 ③脳幹反射の動画視聴</td> <td>37名</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月15日</td> <td>「法的脳死判定～脳波測定、脳幹反射」シナリオの読み合わせと流れの検証</td> <td>21名</td> </tr> </table> 【令和3年度-実績】臓器移植研修会（日本海総合病院） <table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>令和4年2月28日～令和4年3月31日 ※eラーニング</td> <td>「臓器移植におけるSDGsを考える～腎移植を受けた腎臓内科医による取り組み～」 講師：長野県佐久総合病院 腎臓内科 村上 穂氏</td> <td>549名</td> </tr> </table> 【令和4年度-実績】臓器提供シミュレーション（日本海総合病院） <table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>令和4年12月26日</td> <td>脳死下臓器移植提供シナリオ読み合わせ</td> <td>19名</td> </tr> </table> ・目標である脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修について、目標値どおり実施することができた。 【実績】脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修回数（日本海総合病院） <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>○</td> <td>1回</td> <td>○</td> </tr> </table> 【目標】日本海総合病院 <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修</td> <td>毎年度1回以上</td> </tr> </table>	実施日	研修名	参加人数	令和3年3月2日	法的脳死判定より ①事前準備 ②脳波測定 ③脳幹反射の動画視聴	37名	令和3年3月15日	「法的脳死判定～脳波測定、脳幹反射」シナリオの読み合わせと流れの検証	21名	実施日	内容	参加人数	令和4年2月28日～令和4年3月31日 ※eラーニング	「臓器移植におけるSDGsを考える～腎移植を受けた腎臓内科医による取り組み～」 講師：長野県佐久総合病院 腎臓内科 村上 穂氏	549名	実施日	内容	参加人数	令和4年12月26日	脳死下臓器移植提供シナリオ読み合わせ	19名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	2回	○	1回	○	目標とする指標	目標値	脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修	毎年度1回以上	A	○令和3年度は、院内コーディネーター及び全職員が参加可能な研修会をeラーニングで実施した。	A	B	A	—	A	自己評定のとおりに
実施日	研修名	参加人数																																									
令和3年3月2日	法的脳死判定より ①事前準備 ②脳波測定 ③脳幹反射の動画視聴	37名																																									
令和3年3月15日	「法的脳死判定～脳波測定、脳幹反射」シナリオの読み合わせと流れの検証	21名																																									
実施日	内容	参加人数																																									
令和4年2月28日～令和4年3月31日 ※eラーニング	「臓器移植におけるSDGsを考える～腎移植を受けた腎臓内科医による取り組み～」 講師：長野県佐久総合病院 腎臓内科 村上 穂氏	549名																																									
実施日	内容	参加人数																																									
令和4年12月26日	脳死下臓器移植提供シナリオ読み合わせ	19名																																									
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																								
2回	○	1回	○																																								
目標とする指標	目標値																																										
脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修	毎年度1回以上																																										
(2)医療スタッフの確保、資質向上及び勤務環境改善	(2)医療スタッフの確保及び資質向上																																										
①医療人材の確保・育成	ア 医療人材の確保・育成																																										
高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師などの医療従事者の計画的な確保に努めること。特に、医師の確保対策として、医師の働き方改革の動向を踏まえた環境整備や、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医をいう。)の受入れに努めること。 また、教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究をサポートする仕組みづくりを進め、職員の各職務に関連する専門資格を取得するなど、各職種専門性の向上を図ること。	① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師などの医療従事者の適切な人員確保に努める。	・高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師・薬剤師・看護師のほか医療職8職種の募集、職員採用試験を計画的に実施し、医療従事者の確保に努めた。	S	○医師、薬剤師、看護師のほか医療職8職種の募集、職員採用試験を計画的に実施し、医療従事者の確保に努めた。 ○看護師採用実績 ・令和2年度 27名 ・令和3年度 35名 ・令和4年度 32名 ○医療技術者採用実績(医師、事務職除く) ・令和2年度 11名 ・令和3年度 17名 ・令和4年度 22名 ○医師の働き方改革の動向を踏まえ、特定行為管理委員会において、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど、環境の整備を図った。 ○初期臨床研修医及び専攻医を積極的に受け入れ、医師確保に努めた。	A	S	S	—	S	自己評定のとおりに																																	
<目標指標I> 中期目標期間中における看護師の特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者又は認定看護師資格の新規取得者を合計5名以上とすること	② 医師の働き方改革の動向を踏まえ、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。 ③ 初期臨床研修医及び専攻医(専門分野の研修医)を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。	・医師の働き方改革の動向を踏まえ、特定行為管理委員会において、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するための環境を整備し、医師の負担軽減を図った。 ・新専門医制度の下で、基幹施設として研修実施可能な4診療科(内科、外科、産婦人科、麻酔科)及び連携施設(内科、外科、精神科、整形外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科、放射線科、病理診断科、救急科)として、多くの専攻医を受け入れ、医師確保に努めた。 【実績】臨床研修医及び専攻医(レジデント)受入れ人数 <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>68名</td> <td>68名</td> <td>67名</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	68名	68名	67名																																			
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																									
68名	68名	67名																																									

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																																																																																																
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																																																																																											
					R2	R3	R4	R5																																																																																													
	<p>④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に向け、各職種の専門性の向上を図る。</p> <p>⑤ 看護師や助産師の育成及び確保のため、看護師等修学資金貸与を継続して実施する。</p> <p>⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師及び認定看護師の新規取得のほか、新たに看護師の特定行為研修修了者の増加を目指す。</p>	<p>・教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に向け、各職種の専門性の向上を図るため、外部講師派遣による役割別研修や各部門独自で専門能力を高める研修を実施した。</p> <p>・看護師及び助産師を育成・確保するため、看護師等修学資金貸与を継続して行った。</p> <p>【実績】看護師等修学資金の貸与</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">貸与</td> <td>貸与者</td> <td>14名</td> <td>15名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>うち新規貸与決定者</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">終了</td> <td>貸与終了者(A)</td> <td>8名</td> <td>4名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>うち法人就職者(B)</td> <td>8名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>入職率(B/A)</td> <td>100%</td> <td>50%</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・看護師の資質向上のため、認定看護師の新規取得のほか、特定行為、専門看護師研修者を育成した。</p> <p>【実績】認定看護師等研修派遣</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>特定行為研修</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標である各種看護師資格の取得者数及び特定行為研修修了者数について、目標値を大幅に上回ることができた。</p> <p>【実績】各種看護師資格の新規取得者数(法人全体)※期間中5名以上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td></td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td></td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>特定行為</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td></td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td>6名</td> <td></td> <td>13名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数</td> <td>期間中5名以上</td> </tr> <tr> <td>特定行為研修修了者</td> <td>期間中4名以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】特定行為研修修了者数 ※期間中4名以上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定行為</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td></td> <td>8名</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	貸与	貸与者	14名	15名	14名	うち新規貸与決定者	6名	5名	4名	終了	貸与終了者(A)	8名	4名	5名	うち法人就職者(B)	8名	2名	4名	入職率(B/A)	100%	50%	80%	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	認定看護師	1名	2名	2名	専門看護師	0名	1名	1名	特定行為研修	3名	2名	3名	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	認定看護師	1名	1名	2名		4名	専門看護師	0名	0名	1名		1名	特定行為	3名	2名	3名		8名	計	4名	3名	6名		13名	目標とする指標	目標値	特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数	期間中5名以上	特定行為研修修了者	期間中4名以上	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	特定行為	3名	2名	3名		8名								
区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																	
貸与	貸与者	14名	15名	14名																																																																																																	
	うち新規貸与決定者	6名	5名	4名																																																																																																	
終了	貸与終了者(A)	8名	4名	5名																																																																																																	
	うち法人就職者(B)	8名	2名	4名																																																																																																	
	入職率(B/A)	100%	50%	80%																																																																																																	
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																		
認定看護師	1名	2名	2名																																																																																																		
専門看護師	0名	1名	1名																																																																																																		
特定行為研修	3名	2名	3名																																																																																																		
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計																																																																																																
認定看護師	1名	1名	2名		4名																																																																																																
専門看護師	0名	0名	1名		1名																																																																																																
特定行為	3名	2名	3名		8名																																																																																																
計	4名	3名	6名		13名																																																																																																
目標とする指標	目標値																																																																																																				
特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数	期間中5名以上																																																																																																				
特定行為研修修了者	期間中4名以上																																																																																																				
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計																																																																																																
特定行為	3名	2名	3名		8名																																																																																																
②事務職員の確保と専門性の向上	イ 事務職員の確保と専門性の向上																																																																																																				
<p>法人事務職員の計画的な採用等による専門職化、専門資格の取得、研修の充実等により、事務職員の資質向上を図りながら、病院運営の高度化・複雑化に対応できるようマネジメント力の強化に努めること。</p>	<p>病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。</p>	<p>・病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、毎年度の事務職員を採用し、各課に配置することで、他業務、他職種との連携体制を構築した。</p> <p>・新規採用職員研修を実施し、病院の運営方針等を学ぶことを通じて専門性と資質の向上に努めた。</p> <p>・事務職員の専門性と資質の向上のため、事務職員資格取得支援制度を活用し、令和4年度は、診療情報管理士に2名合格し、通信教育(診療情報管理士)を1名受講開始した。</p>	B	<p>○オンライン研修会受講等の奨励及び支援を行い、専門性と資質の向上に努めた。</p> <p>○事務職員資格取得支援制度を活用し、診療情報管理士に令和2年度は1名、令和4年度は2名合格した。</p>	B	B	B	—	B	自己評価のとおり																																																																																											
③職員の勤務環境の改善	ウ 職員の勤務環境の改善																																																																																																				
<p>職員が仕事に誇りを持って、その能力を十分に発揮できる組織づくりに取り組むとともに、職員の健康維持・増進とワーク・ライフ・バランスの確立を図り、職員が意欲的に、安心して業務に専念できる環境づくりに努め、魅力ある病院及び診療所を目指すこと。</p> <p>特に、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減や女性医療従事者の支援を図るため、労働時間管理の適正化、多様な勤務形態の導入・活用、及び医師事務作業補助者や看護補助者の積極活用等により、働きやすい環境づくりに努めること。</p>	<p>① 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。</p> <p>② 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続など、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。</p> <p>③ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。</p>	<p>・職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう定期健康診断を実施した。</p> <p>・ストレスチェックでは、より多くの職員が受検できるよう、受検方法を「紙一択」から「紙・ウェブ選択可」とした。ハラスメント研修では、新規採用者にも実施し、対策を強化した。</p> <p>【実績】ストレスチェックの受診状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施率</td> <td>87.80%</td> <td>91.10%</td> <td>89.50%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進した。さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続、男性の育児休暇取得の推進など、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努めた。</p> <p>【実績】医師短時間職員制度等利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師短時間</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>育児部分休業</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>育児短時間勤務</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>育児時間</td> <td>5名</td> <td>4名</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>ベビーシッター等助成金</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>ハウスクリーニング等助成金</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>屋外清掃作業助成金</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・病棟、外来及び文書作成に医師事務作業補助者を下記のとおり配置し、医師をはじめとする各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努めた。</p> <p>【実績】医事クレーン配置数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>68名</td> <td>70名</td> <td>76名</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	実施率	87.80%	91.10%	89.50%	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	医師短時間	2名	3名	3名	育児部分休業	0名	0名	1名	育児短時間勤務	0名	1名	1名	育児時間	5名	4名	18名	ベビーシッター等助成金	1名	0名	0名	ハウスクリーニング等助成金	3名	3名	2名	屋外清掃作業助成金	1名	1名	0名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	68名	70名	76名	A	<p>○職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう定期健康診断を実施した。</p> <p>○健康診断実施率※長期休業者除く(育休等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 99.9% 令和3年度 100% 令和4年度 100% <p>○医師短時間正職員制度等の活用を推進した。</p> <p>○令和4年度に山形労働局から、女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定)を受けた。</p> <p>○医師事務作業補助者の増員を図り、効率的な業務遂行に努めた。</p>	B	B	A	—	A	自己評価のとおり																																													
	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																		
実施率	87.80%	91.10%	89.50%																																																																																																		
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																		
医師短時間	2名	3名	3名																																																																																																		
育児部分休業	0名	0名	1名																																																																																																		
育児短時間勤務	0名	1名	1名																																																																																																		
育児時間	5名	4名	18名																																																																																																		
ベビーシッター等助成金	1名	0名	0名																																																																																																		
ハウスクリーニング等助成金	3名	3名	2名																																																																																																		
屋外清掃作業助成金	1名	1名	0名																																																																																																		
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																																			
68名	70名	76名																																																																																																			

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																																						
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																																	
					R2	R3	R4	R5																																			
(3)医療サービスの効果的な提供	(3)医療サービスの効果的な提供																																										
①地域連携の推進	ア 地域連携の推進																																										
良質な医療サービスを効果的に提供するため、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通じた地域の医療機関等との連携を一層強化し、地域包括ケアシステムの構築に資する役割を果たすよう努めること。更には、地域、医療圏を超えた広域的な医療連携の推進にも努めること。 また、退院時における地域の介護・福祉施設等との連携を強化し、退院後の医療支援や施設入所のための情報共有を図るなど、医療・介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努めること。 ＜目標指標Ⅱ＞ 日本海総合病院における紹介率及び逆紹介率について、毎年度、次の指標以上とすること 紹介率:55% / 逆紹介率:75%	① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。さらに、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。 ・地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。 ・地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、山形県全域および秋田県との地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携、「あきたハートフルネット」との診療情報の相互連携を継続的に行った。 【実績】ちようかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5件</td> <td>41件</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table> ※令和2年度から運用開始 【実績】ちようかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数(コンテンツ別) <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンテンツ</th> <th>令和2～4年度 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処方(指示)</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>注射(指示)</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>検査</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>画像(指示)</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>画像一覧(画像の参照)</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>サマリービュー</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>ノート(記録)</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5件	41件	48件	コンテンツ	令和2～4年度 合計	処方(指示)	10件	注射(指示)	1件	検査	5件	画像(指示)	5件	レポート	1件	画像一覧(画像の参照)	64件	サマリービュー	1件	ノート(記録)	7件	A	○地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画を通して、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。 ○令和2年度からは、秋田県医師会と協定を締結し、山形県全域および秋田県との地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携、「あきたハートフルネット」との診療情報の相互連携を継続的に行った。 ○令和3年度には、アプリを活用し、日本海ヘルスケアネット内の病院や介護施設の空床状況を医師・看護師長用iPhoneで共有することで連携を強化した。	A	S	S	—	S	昨年度と比較して悪くなった箇所はないため、昨年度同様の評価とする。										
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																									
5件	41件	48件																																									
コンテンツ	令和2～4年度 合計																																										
処方(指示)	10件																																										
注射(指示)	1件																																										
検査	5件																																										
画像(指示)	5件																																										
レポート	1件																																										
画像一覧(画像の参照)	64件																																										
サマリービュー	1件																																										
ノート(記録)	7件																																										
	② 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用などにより、かかりつけ医への紹介等連携を図る。日本海総合病院では、毎年度において、紹介率55%以上及び逆紹介率75%以上を達成することを目標とする。 【目標】日本海総合病院 <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>毎年度55%以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>毎年度75%以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	紹介率	毎年度55%以上	逆紹介率	毎年度75%以上	・地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度を活用し、医療福祉センターの逆紹介サポート窓口において、社会福祉士が患者と面談し逆紹介について相談できる体制を構築するなど、かかりつけ医への紹介等連携を図った。 【実績】紹介率、逆紹介率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>70.3%</td> <td>62.4%</td> <td>67.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>105.4%</td> <td>97.1%</td> <td>97.0%</td> </tr> </tbody> </table> ・目標である紹介率及び逆紹介率について、目標値を大幅に上回ることができた。 【実績】紹介率、逆紹介率(日本海総合病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>70.3%</td> <td>○ 62.4%</td> <td>○ 67.8%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>105.4%</td> <td>○ 97.1%</td> <td>○ 97.0%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	紹介率	70.3%	62.4%	67.8%	逆紹介率	105.4%	97.1%	97.0%	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	紹介率	70.3%	○ 62.4%	○ 67.8%	○	逆紹介率	105.4%	○ 97.1%	○ 97.0%	○	S	○連携協力医登録制度を活用しかかりつけ医への紹介等連携を図り、紹介率及び逆紹介率については目標値を大幅に上回ることができた。	S	S	S	—	S	自己評価のとおり
目標とする指標	目標値																																										
紹介率	毎年度55%以上																																										
逆紹介率	毎年度75%以上																																										
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																								
紹介率	70.3%	62.4%	67.8%																																								
逆紹介率	105.4%	97.1%	97.0%																																								
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																							
紹介率	70.3%	○ 62.4%	○ 67.8%	○																																							
逆紹介率	105.4%	○ 97.1%	○ 97.0%	○																																							
②診療情報の共有化	イ 診療情報の共有化、地域クリティカルパスの活用																																										
医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化に係る方針・計画のもと、地域医療情報ネットワーク等を活用した広域的な診療情報の共有化を一層推進すること。	① 地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。 ② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。	・地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化の推進を図った。 【実績】登録患者数等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録患者数</td> <td>49,337名</td> <td>55,131名</td> <td>60,650名</td> </tr> <tr> <td>開示施設数</td> <td>8施設</td> <td>8施設</td> <td>8施設</td> </tr> <tr> <td>閲覧施設数</td> <td>234施設</td> <td>237施設</td> <td>249施設</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	登録患者数	49,337名	55,131名	60,650名	開示施設数	8施設	8施設	8施設	閲覧施設数	234施設	237施設	249施設	A	○地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、毎年度登録患者が増加した。 ○地域連携クリティカルパスを活用し効率的な医療の提供した。	A	A	A	—	A	自己評価のとおり																	
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																								
登録患者数	49,337名	55,131名	60,650名																																								
開示施設数	8施設	8施設	8施設																																								
閲覧施設数	234施設	237施設	249施設																																								

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評定																																																													
			自己 評定	評定の理由等	年度毎の評定				評定	評価																																																								
					R2	R3	R4	R5																																																										
(4)教育研修事業の充実	(4)教育研修事業の充実																																																																	
①庄内地域における医療水準の向上	ア 庄内地域における医療水準の向上																																																																	
山形大学、東北大学、県立保健医療大学、県立病院などと連携し、庄内地域の中核的な医療機関として、質の高い医療従事者を育成し、庄内地域における医療水準の向上に寄与するよう努めること。	庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。さらに、救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	<p>・臨床研修医及びレジデントの受け入れ並びに山形大学からのスチューデントドクター及び東北大学からの地域医療実習生を継続して受け入れ、質の高い医療従事者の育成に努めた。</p> <p>【実績】臨床研修医等の受入れ状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医</td> <td>28名</td> <td>26名</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>専攻医(レジデント)</td> <td>40名</td> <td>42名</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>スチューデントドクター(山形大学)</td> <td>45名</td> <td>68名</td> <td>66名</td> </tr> <tr> <td>高次臨床研修生(東北大学)</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努めた。</p> <p>【実績】酒田看護専門学校実習実績(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習学生数</td> <td>78名</td> <td>73名</td> <td>77名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】酒田看護専門学校実習実績(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習学生数</td> <td>26名</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士養成課程の就業前研修、再教育実習、山形県消防学校救急科の病院実習を実施し、計36名の実習生の受入れを行った。</p> <p>【実績】実習生受入人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業前研修</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>再教育実習</td> <td>33名</td> <td>31名</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>病院実習</td> <td>10名</td> <td>7名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>44名</td> <td>41名</td> <td>36名</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	臨床研修医	28名	26名	28名	専攻医(レジデント)	40名	42名	39名	スチューデントドクター(山形大学)	45名	68名	66名	高次臨床研修生(東北大学)	3名	1名	2名	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実習学生数	78名	73名	77名	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	実習学生数	26名	—	—	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	就業前研修	1名	3名	2名	再教育実習	33名	31名	30名	病院実習	10名	7名	4名	計	44名	41名	36名	B	<p>○新型コロナウイルス感染症による影響下においても、毎年度、臨床研修医等の受け入れや酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師の育成等、質の高い医療従事者の育成に努めた。</p> <p>○毎年度、救命救急センターで救急救命士養成課程の就業前研修、再教育実習及び山形県消防学校救急科の病院実習を受入れた。</p>	B	A	A	—	A	県内でも模範となる取組を進めており、学生を多く受け入れている点は評価できる。
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																															
臨床研修医	28名	26名	28名																																																															
専攻医(レジデント)	40名	42名	39名																																																															
スチューデントドクター(山形大学)	45名	68名	66名																																																															
高次臨床研修生(東北大学)	3名	1名	2名																																																															
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																															
実習学生数	78名	73名	77名																																																															
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																															
実習学生数	26名	—	—																																																															
区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																															
就業前研修	1名	3名	2名																																																															
再教育実習	33名	31名	30名																																																															
病院実習	10名	7名	4名																																																															
計	44名	41名	36名																																																															
②住民意識の啓発活動	イ 住民意識の啓発活動																																																																	
関係機関と連携しながら、地域住民を対象としたセミナー、広報などにより、介護予防を含め保健医療情報を積極的に発信し、住民の健康に対する意識の啓発に努めること。	住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。また、地域住民を対象としたセミナーの実施や広報誌「あきほ」の活用等を通して、医療や健康に関する情報の発信に努める。	<p>・住民の健康意識の向上のため、住民を対象としたセミナーとして、生涯学習施設「里仁館」で開催された健康講座に職員を派遣し、関係機関と連携し、啓発活動に努めた。また、病院広報誌「あきほ」の活用等を通して、医療や健康に関する情報を発信し、啓発活動に行った。</p>																																																																
○令和2年度に延期された市民公開講座を令和3年度に録画した映像をYoutube配信する形式で在宅医療に関する市民公開講座を実施した。																																																																		
○令和4年度では、生涯学習施設「里仁館」で開催された健康講座に職員を派遣し、関係機関と連携し、啓発活動に努めた。																																																																		
○病院広報誌「あきほ」の活用等を通して、医療や健康に関する情報を発信し、啓発活動に努めた。																																																																		
3 患者・住民の満足度の向上	3 患者・住民の満足度の向上																																																																	
質の高い医療を提供するとともに、患者や来院者のニーズを把握し、サービスの向上に努め、患者や住民の満足度を高めること。 具体的には、患者・住民の意見を取り入れ、院内環境等の快適性の向上や在院時間の短縮に努め、一方で病院及び診療所の役割や機能などについて理解を得るための取組も積極的に行うこと。	① 来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努める。また、入退院支援センターの活用により入院から退院まで包括的にサポートできる体制を整備する。	<p>・来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努めた。また、入退院支援センターの活用により入院から退院まで包括的にサポートできる体制を整備した。</p> <p>【実績】入退院支援加算(入院時支援加算有り)算定件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,317件</td> <td>2,457件</td> <td>2,342件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入退院支援センター:令和2年2月17日から運用開始</p>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	2,317件	2,457件	2,342件																																																										
令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																
2,317件	2,457件	2,342件																																																																
	② ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供する。	<p>・ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院や診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供するため、ホームページでの病院情報の発信や病院広報誌「あきほ」の発行により、地域住民に分かりやすく、かつ幅広い情報発信を行った。</p> <p>・目標である病院広報誌発行回数については、目標値どおり発行することができた。</p> <p>【実績】病院広報誌発行回数(法人全体)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回</td> <td>○</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回	○	4回	○	A	<p>○医療福祉相談室では、逆紹介サポート窓口を設置し、医師に代わって社会福祉士が患者と面談を行い、逆紹介の説明をする体制を構築することで、医師が診察に専念できる環境を整備するとともに、外来患者の在院時間の短縮に努めた。</p> <p>○外来看護師や事務などの関係者が、受付から会計までの在院時間の短縮等を目的としたミーティングを定期的開催し、業務フローの見直しや人員配置の変更など改善に努めた。</p> <p>○入退院支援センターでは、退院時に医療費を支払いたいという患者や患者家族等の利便性を向上させるため退院時会計を実施した。</p> <p>○ホームページについては、令和3年度に病院機構・日本海総合病院等のホームページをリニューアルし、表示方法の統一、患者向け・医療従事者関係向けの情報整理等を行い、より分かりやすい内容に変更した。</p> <p>○病院広報誌発行回数については、毎年度、年4回発行することができた。</p>	A	A	A	—	A	自己評定のとおり																																																
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																															
4回	○	4回	○																																																															
	【目標】法人全体																																																																	
	目標とする指標	目標値																																																																
	病院広報誌発行回数	毎年度4回																																																																

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																									
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																				
					R2	R3	R4	R5																						
4 法令等の遵守と情報公開の推進	4 法令等の遵守と情報公開の推進																													
医療法をはじめとする関係法令を遵守することはもとより、職員の行動規範と倫理を確立し、職員一人ひとりが誠実・公正に職務を遂行することで社会的信用を高めるとともに、適正な病院運営と業務執行におけるコンプライアンスの徹底に向け取り組むこと。 また、文書管理、個人情報保護及び情報公開に関して適切に対応しカルテなどの個人情報の保護並びに患者及びその家族への情報提供を適切に行うこと。更に、情報セキュリティ対策の強化に努めること。	① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。 ② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、また文書管理については、山形県公文書等管理条例に基づき、それぞれ適切に対応する。 ③ セキュリティに関する研修会等により、適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図る。	・職員研修において、法令及び倫理綱領並びに業務執行等におけるコンプライアンスの内容を周知するとともに、法令遵守、職務遂行を就業規則に規定し院内イントラネットで常時周知するなど、職員に対して周知徹底に取り組んだ。 ・インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、県の機関に準じて適切に行った。 【実績】診療情報提供申出件数(日本海総合病院) <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>43件</td> <td>59件</td> <td>43件</td> </tr> </table> ・文書管理についても、山形県公文書等管理条例に基づき、県の機関に準じて保存・廃棄等適切に対応した。 ・毎年度、セキュリティに関する研修会等により、適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図った。	令和2年度	令和3年度	令和4年度	43件	59件	43件	B	○職員研修等により周知徹底に取り組んだ。 ○県の機関に準じて、適切に対応した。 ○職員セキュリティ研修については全職員に向けたe-ラーニング研修を実施し、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」に新規参加する介護事業者及び新たに利用開始するユーザーに対しては、対面でのセキュリティ研修会を実施した。	B	B	B	—	B	自己評価のとおり														
令和2年度	令和3年度	令和4年度																												
43件	59件	43件																												
5 医療安全対策の充実・強化	5 医療安全対策の充実・強化																													
住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療事故やインシデント等の予防及び院内感染防止対策の充実を図り、医療安全対策を強化すること。	住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。 【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院 <table border="1"> <tr> <td>目標とする指標</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>医療安全対策及び院内感染対策に係る研修</td> <td>毎年度4回以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	医療安全対策及び院内感染対策に係る研修	毎年度4回以上	・住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を各2回行った。診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図った。 ・開催方法については、開催当日の集合研修の他に、未受講者に対して開催当日の録画映像の上映やe-ラーニングによる配信など、より多くの職員が受講できるよう取り組んだ。 ・目標である医療安全対策及び院内感染対策に係る研修について、目標値どおり実施することができた。 【実績】医療安全対策及び院内感染対策に係る研修回数 (日本海総合病院) <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>○</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </table> (日本海酒田リハビリテーション病院) <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>○</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回	○	4回	○	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回	○	4回	○	B	○医療安全対策委員会及び院内感染対策委員会のそれぞれにおいて、全職員対象の研修を毎年度開催した。	B	B	B	—	B	自己評価のとおり
目標とする指標	目標値																													
医療安全対策及び院内感染対策に係る研修	毎年度4回以上																													
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																											
4回	○	4回	○																											
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																											
4回	○	4回	○																											
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置																													
1 組織マネジメントの強化	1 組織マネジメントの強化、災害発生時の業務継続性の確保																													
地方独立行政法人として自らの特性や実情を踏まえた機動的な業務運営を行うため、内部統制を推進し、経営戦略機能及び自律性を発揮できるよう組織マネジメントを強化すること。	① 運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。 【目標】法人全体 <table border="1"> <tr> <td>目標とする指標</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>内部監査</td> <td>毎年度2項目以上</td> </tr> </table> ② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。	目標とする指標	目標値	内部監査	毎年度2項目以上	・運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を定期的に開催し、内部統制の推進を図った。 ・自律性のある効率的な業務運営を行うため、内部による医療費未収金業務及び委託契約、物件購入契約等に係る会計監査を実施した。 ・目標である内部監査について、目標値どおり実施することができた。 【実績】内部監査実施項目数 法人全体 <table border="1"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>2項目</td> <td>○</td> <td>2項目</td> <td>○</td> </tr> </table> ・災害発生時等において、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(事業継続計画)に基づき業務の継続性を確保できるよう、災害対策マニュアル・BCPマニュアル等の見直しを行った。	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	2項目	○	2項目	○	B	○幹部による会議を定期的に開催した。 ○業務の継続性を確保できるよう、毎年度、災害対策マニュアル・BCPマニュアル等の見直しを行った。	B	B	B	—	B	自己評価のとおり								
目標とする指標	目標値																													
内部監査	毎年度2項目以上																													
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																											
2項目	○	2項目	○																											
2 診療体制の適正化、人員配置の弾力的運用	2 診療体制の強化、人員配置の弾力的運用																													
医療需要の変化や住民のニーズ等に迅速かつ的確に対応し、診療体制の適正化を図るとともに、医療従事者の配置を適切に行うこと。 また、柔軟かつ多様な勤務形態を取り入れ、多様な専門的職種の活用を図ることなどにより、より専門的で効率的な業務運営に努めること。	医療需要の変化に対応するため、医療従事者の適切な配置等を行い、診療体制の適正化を図る。また、多様な勤務形態及び専門的職種等の活用を図り、効率的な業務運営に努める。	・医療需要の変化に迅速かつ的確に対応するため、定期的な人事異動により適材適所の配置に努めるとともに、診療体制の適正化を図った。 ・医師短時間正職員制度を利用することで、医師がキャリアを中断することなく安心して意欲的に勤務できるよう努め、多様な勤務形態の活用を図った。 ・感染対策部門、診療録管理部門等に専門性の高い職員を配置し、入退院支援センターでは多職種が協力し、効果的な業務運営を行った。	B	○医療需要の変化等に迅速かつ的確に対応するため、医療従事者の適切な配置を行った。	A	B	B	—	B	自己評価のとおり																				

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																																																																																												
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																																																																																							
					R2	R3	R4	R5																																																																																									
3 業務の効率化、職員の意欲向上	3 業務の効率化、職員の意欲向上																																																																																																
定期的な業務プロセスの見直しや、医療スタッフ間の合意形成のもとでの業務の移管・共同化の推進等により、単位時間あたりの業務処理の向上を図ること。また、業務・業績に対するより適切な人事評価を含む人事制度の確立等により、職員のモチベーションを高めていくための取組を進めること。	① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い業務の効率化に努める。また、各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等について検討する。 ② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。	・各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努めた。 【実績】業務改善委員会(日本海総合病院) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>新規提案</td> <td>23件</td> <td>33件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>終了</td> <td>16件</td> <td>27件</td> <td>19件</td> </tr> </table> ・各業務において連携、機能分化の推進に努め、手術室においては、特定看護師を配置、麻酔アシスタント制度により臨床工学技士2名を活用し、タスクシフトを推進した。 ・職員の能力や経験を適切に評価し、昇任に反映させ意欲向上を図るとともに、将来の病院経営を担う人材を育成するため、リーダーシップを発揮できる人材の育成を行った。	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	新規提案	23件	33件	15件	終了	16件	27件	19件	A	○各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努めた。 ○業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等について検討を行い、令和2年度に麻酔アシスタント制度を立ち上げ、麻酔アシスタント(臨床工学技士)によるタスクシフトを推進した。 ○職員の能力や経験を適切に評価し、昇任に反映させ意欲向上を図った。	A	A	A	—	A	自己評価のとおり																																																																											
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																																																																														
新規提案	23件	33件	15件																																																																																														
終了	16件	27件	19件																																																																																														
4 経営基盤の安定化	4 経営基盤の安定化																																																																																																
(1) 収入の確保	(1) 収入の確保																																																																																																
安定した経営を維持するため、住民の医療ニーズに応えつつ、営業収益の確保に努め、国の医療制度改革や診療報酬改定等に、速やかに対応するための取組を行うこと。 また、患者動向や診療体制等を見据え、治療内容に応じた在院日数の最適化など収入確保につながる取組を行うこと。更に、適正な診療報酬の請求、未収金の未然防止及び早期回収に努めること。 <目標指標Ⅲ> 日本海総合病院について、中期目標期間中、DPC特定病院群の適用を維持すること	① 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。 【目標】法人全体 <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>DPC特定病院群適用</td> <td>期間中継続</td> </tr> </table> ② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、また、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に努める。	目標とする指標	目標値	DPC特定病院群適用	期間中継続	・診療報酬改定で新設された急性期充実体制加算を取得するため、院内体制を整備した。急性期充実体制加算を取得したことで、従来の総合入院体制加算に比べて大幅な増収につながった。 急性期充実体制加算取得による増収額: 259,343,100円 ・また、新たに強度変調放射線治療の施設基準等を取得し、増収を図った。 新規施設基準取得による増収額: 155,632,250円 ・日本海総合病院ではDPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、令和5年度もDPC特定病院群が適用となった。また、収益の確保を図るため、経営会議にて要件の確認及び報告、院内の関係部署との連携、データ解析や運用改善を行った。 ・目標であるDPC特定病院群の適用について、目標値どおり維持することができた。 【実施】DPC特定病院群適用(法人全体) <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>適用</td> <td>○</td> <td>適用</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>適用</td> <td>○</td> <td>適用</td> <td>○</td> </tr> </table> ・入退院支援センターでの退院時会計を引き続き実施し、土曜日に退院する患者についても退院時会計を行い、未収金の発生防止に努めた。 ・未収金が発生した際には、督促・催告状の発行に加え分納納入や集金の対応、弁護士法人への委託によって、早期回収に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響下において、支払いに困難な事情がある患者に向き合い、長期的に支払いの契機を伺いながら回収に努めた。	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	適用	○	適用	○	適用	○	適用	○	A	○診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、新たな施設基準の取得や見直しを行い、増収を図った。 ○新規施設基準取得による増収額 ・令和2年度 221,326,000円 ・令和3年度 5,544,400円 ・令和4年度 414,975,350円 ※急性期充実体制加算取得による増収額: 259,343,100円含む ○日本海総合病院ではDPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、令和4・5年度のDPC特定病院群が適用となった。 ○令和3年度から入退院支援センターでの退院時会計を可能にしたことで、未収金の発生防止に努めた。	A	A	A	—	A	自己評価のとおり																																																																							
目標とする指標	目標値																																																																																																
DPC特定病院群適用	期間中継続																																																																																																
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																														
適用	○	適用	○																																																																																														
適用	○	適用	○																																																																																														
(2) 費用の抑制	(2) 費用の抑制																																																																																																
引き続き、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努めること。 また、後発医薬品の積極採用など材料費の抑制に努めること。 <目標指標Ⅳ> 後発医薬品の数量シェアについて、毎年度、85%以上とすること	医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラの推進を図り後発医薬品の使用促進に努める。 【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院 <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア率</td> <td>毎年度85%以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	後発医薬品数量シェア率	毎年度85%以上	・医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により人件費の適正化に努め、材料費についても、収益の状況を把握しながら費用削減に努めた。また、医薬品については、地域フォーミュラの推進を図り、後発医薬品の使用促進に努めた。 【実績】費用に係る比率 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">令和2年度</th> <th colspan="3">令和3年度</th> <th colspan="3">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> </tr> <tr> <td>日本海総合病院(法人管理部含む)</td> <td>43.4%</td> <td>28.7%</td> <td>16.3%</td> <td>44.1%</td> <td>29.1%</td> <td>16.9%</td> <td>42.8%</td> <td>28.4%</td> <td>16.6%</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>77.3%</td> <td>1.8%</td> <td>0.8%</td> <td>78.1%</td> <td>2.0%</td> <td>0.9%</td> <td>81.8%</td> <td>1.9%</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック等診療所</td> <td>54.5%</td> <td>11.1%</td> <td>9.8%</td> <td>55.8%</td> <td>10.6%</td> <td>9.2%</td> <td>55.0%</td> <td>9.2%</td> <td>7.5%</td> </tr> <tr> <td>病院機構全体</td> <td>45.4%</td> <td>27.0%</td> <td>15.4%</td> <td>46.1%</td> <td>27.4%</td> <td>15.9%</td> <td>44.9%</td> <td>26.8%</td> <td>15.7%</td> </tr> </table> ・目標である後発医薬品数量シェア率について、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院とも目標値を上回ることができた。 【実績】後発医薬品数量シェア率(日本海総合病院) <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>89%</td> <td>○</td> <td>90%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>89%</td> <td>○</td> <td>90%</td> <td>○</td> </tr> </table> (日本海酒田リハビリテーション病院) <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>89%</td> <td>○</td> <td>94%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>89%</td> <td>○</td> <td>94%</td> <td>○</td> </tr> </table>	区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度			職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	日本海総合病院(法人管理部含む)	43.4%	28.7%	16.3%	44.1%	29.1%	16.9%	42.8%	28.4%	16.6%	日本海酒田リハビリテーション病院	77.3%	1.8%	0.8%	78.1%	2.0%	0.9%	81.8%	1.9%	0.7%	日本海八幡クリニック等診療所	54.5%	11.1%	9.8%	55.8%	10.6%	9.2%	55.0%	9.2%	7.5%	病院機構全体	45.4%	27.0%	15.4%	46.1%	27.4%	15.9%	44.9%	26.8%	15.7%	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	89%	○	90%	○	89%	○	90%	○	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	89%	○	94%	○	89%	○	94%	○	A	○医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により人件費の適正化に努めた。 ○後発医薬品数量シェア率については、毎年度、目標値を上回ることができた。	A	A	A	—	A	自己評価のとおり
目標とする指標	目標値																																																																																																
後発医薬品数量シェア率	毎年度85%以上																																																																																																
区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度																																																																																										
	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費																																																																																								
日本海総合病院(法人管理部含む)	43.4%	28.7%	16.3%	44.1%	29.1%	16.9%	42.8%	28.4%	16.6%																																																																																								
日本海酒田リハビリテーション病院	77.3%	1.8%	0.8%	78.1%	2.0%	0.9%	81.8%	1.9%	0.7%																																																																																								
日本海八幡クリニック等診療所	54.5%	11.1%	9.8%	55.8%	10.6%	9.2%	55.0%	9.2%	7.5%																																																																																								
病院機構全体	45.4%	27.0%	15.4%	46.1%	27.4%	15.9%	44.9%	26.8%	15.7%																																																																																								
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																														
89%	○	90%	○																																																																																														
89%	○	90%	○																																																																																														
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																														
89%	○	94%	○																																																																																														
89%	○	94%	○																																																																																														

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																										
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																					
					R2	R3	R4	R5																							
第4 財務内容の改善に関する事項	第4 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画																														
「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」で定めた事項に配慮した中期計画及び年次計画を作成し、これに基づき日本海総合病院等を運営することにより、中期目標期間の各年度において経常収支比率100%以上を達成すること。 また、持続可能な経営のため、経営基盤を強化し、目標期間内の各年度において資金収支の均衡を達成すること。 <目標指標V> 法人全体の経常収支比率について、各年度100%以上とすること	効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状況の把握や情報共有等に努める。さらに今後の医療環境の変化に対応し、各年度における法人全体の営業収支比率及び経常収支比率の目標を次のとおり設定するとともに、資金収支の均衡を図る。 【目標】法人全体 <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>毎年度100%以上</td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>毎年度100%以上</td> </tr> </table> 中期目標を着実に達成するための予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおり見込むこととする。また、各年度において的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。	目標とする指標	目標値	経常収支比率	毎年度100%以上	営業収支比率	毎年度100%以上	・効率的かつ効果的な経営を持続するため、運営委員会や経営会議等において、各職員へ経営状況の情報共有等を図った。 ・適切な資金計画に基づき、法人全体の資金収支の均衡や短期借入金の抑制を図った。 ・目標である経常収支比率及び営業収支比率の目標値を上回ることができた。 【実績】経常収支比率、営業収支比率(法人全体) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>105.8% ○</td> <td>104.6% ○</td> <td>106.7% ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>105.1% ○</td> <td>104.2% ○</td> <td>106.0% ○</td> <td></td> </tr> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	経常収支比率	105.8% ○	104.6% ○	106.7% ○		営業収支比率	105.1% ○	104.2% ○	106.0% ○		A		A	A	A	—	A	自己評価のとおり
目標とする指標	目標値																														
経常収支比率	毎年度100%以上																														
営業収支比率	毎年度100%以上																														
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																											
経常収支比率	105.8% ○	104.6% ○	106.7% ○																												
営業収支比率	105.1% ○	104.2% ○	106.0% ○																												
第5 短期借入金の限度額	第5 短期借入金の限度額																														
1 限度額 4,000百万円		・短期借入金の実績なし	S	○短期借入金の実績なし	S	S	S	—	S	自己評価のとおり																					
2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応																															
第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画																															
なし			—		—	—	—	—	—																						
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画																															
なし			—		—	—	—	—	—																						
第8 剰余金の使途																															
決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。		・決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。	A	○決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。	A	A	A	—	A	自己評価のとおり																					
第9 料金に関する事項																															
1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定でない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあっては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	・料金の額は、計画に記載の基準等の規定により算定した額を徴収した。 ・計画に記載の契約等による額とした。 ・該当なし	B	○料金の額は、計画に記載の基準等の規定により算定した額を徴収した。 ○計画に記載の契約等による額とした。 ○該当なし	B	B	B	—	B	自己評価のとおり																						
第5 その他業務運営に関する重要事項	第10 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項																														
1 中期計画における数値目標の設定																															
本中期目標において別に指示するもののほか、本中期目標の主要な項目について、中期計画において数値目標を設定のうえ取り組むこと。			—		—	—	—	—	—																						

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																																																																																																								
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																																																																																																			
					R2	R3	R4	R5																																																																																																					
2 医療機器・施設整備に関する事項	1 医療機器・施設整備に関する事項																																																																																																												
<p>医療機器・施設整備については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分担、医療技術の進展及び施設の長寿命化などを総合的に判断して実施すること。</p> <p>特に、高額な医療機器等の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)を作成のうえ、計画的に行うこと。</p> <p>日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市と協議を行いながら医療機器・施設整備を図ること。</p>	<p>① 医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分担、医療技術の進展等、総合的に判断して整備する。施設整備については、これらに加え、老朽化の状況や緊急度、災害に対する耐性等を踏まえつつ、中長期的な視点のもと施設の長寿命化に向けた検討を行いながら、計画的に実施する。また日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市と協議を行いながら医療機器・施設整備を図る。</p> <p>② 高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行う。</p> <p>【中期計画期間に係る医療機器・施設整備に関する計画】(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>3,186</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>770</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機器等</td> <td>2,416</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子カルテ等</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	予定額	財源	資本支出			建設改良費	3,186	設立団体からの長期借入金等	施設整備	770		医療機器等	2,416		電子カルテ等			<p>・医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分化、医療技術の進展等を総合的に判断し、手術用内視鏡システム、超音波画像診断装置の更新や、手術器具等の整備し、適切な医療の確保に努めた。</p> <p>・施設整備について、中長期計画等に従い、緊急度が高い設備の修繕工事を行った。</p> <p>・地域医療ニーズに対応するため、新型コロナウイルス感染症における重点医療機関として感染症患者の積極的な受入れと院内感染防止を図り、新型コロナウイルス感染症患者の専用病棟41床(うち重症者用病床8床)を設置し、診療提供体制等の整備を行った。また、酒田市の依頼を受け、新型コロナウイルスワクチン個別接種を実施した。</p> <table border="1"> <caption>【令和3年度-実績】新型コロナウイルスワクチン個別接種実施数</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>1,525名</td> <td>1,518名</td> <td>374名</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>83名</td> <td>92名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>1,720名</td> <td>1,673名</td> <td>1,368名</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>298名</td> <td>247名</td> <td>349名</td> </tr> <tr> <td>飛鳥診療所</td> <td>141名</td> <td>142名</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>【令和4年度-実績】新型コロナウイルスワクチン個別接種実施数</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> <th>4回目</th> <th>5回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>69名</td> <td>97名</td> <td>852名</td> <td>592名</td> <td>208名</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>—</td> <td>5名</td> <td>141名</td> <td>1,358名</td> <td>1,080名</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>—</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>343名</td> <td>230名</td> </tr> <tr> <td>飛鳥診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>99名</td> <td>93名</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・高額な医療機器・施設整備の更新及び整備について、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な整備計画のもとに行い、計画どおりの更新・整備が実施できた。</p> <p>【医療機器・施設整備の計画】(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>3,191</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>1,078</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機器等</td> <td>2,232</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設仮勘定</td> <td>△146</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	1回目	2回目	3回目	日本海総合病院	1,525名	1,518名	374名	日本海酒田リハビリテーション病院	83名	92名	—	日本海八幡クリニック	1,720名	1,673名	1,368名	松山診療所	298名	247名	349名	飛鳥診療所	141名	142名	—	区分	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	日本海総合病院	69名	97名	852名	592名	208名	日本海酒田リハビリテーション病院	—	—	—	—	—	日本海八幡クリニック	—	5名	141名	1,358名	1,080名	松山診療所	—	1名	2名	343名	230名	飛鳥診療所	—	—	99名	93名	—	区分	実績	財源	資本支出			建設改良費	3,191	設立団体からの長期借入金等	施設整備	1,078		医療機器等	2,232		ソフトウェア	27		建設仮勘定	△146		A	<p>○医療機器については、費用対効果等を総合的に判断・整備し、適切な医療の確保に努めた。</p> <p>○施設整備について、中長期計画に従い、緊急度が高い設備の修繕工事を行った。</p> <p>○日本海総合病院 ・令和2年度 5件(パッケージエアコン更新工事等) ・令和3年度 3件(空調機ユニット更新工事等) ・令和4年度 6件(非常用発電機改修工事等)</p> <p>○日本海八幡クリニック等診療所 ・令和3年度 2件(八幡:血圧脈波測定装置更新、松山:電子カルテ導入) ・令和4年度 1件(八幡:電子カルテ導入)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症患者の専用病棟41床(うち重症者用病床8床)を設置し、診療提供体制等の整備を行った。</p> <p>○酒田市の依頼を受け、新型コロナウイルスワクチン個別接種を実施した。</p> <p>○起債に係る償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な整備計画のもとに更新を行った。</p>	B	A	A	—	A	自己評価のとおり
区分	予定額	財源																																																																																																											
資本支出																																																																																																													
建設改良費	3,186	設立団体からの長期借入金等																																																																																																											
施設整備	770																																																																																																												
医療機器等	2,416																																																																																																												
電子カルテ等																																																																																																													
区分	1回目	2回目	3回目																																																																																																										
日本海総合病院	1,525名	1,518名	374名																																																																																																										
日本海酒田リハビリテーション病院	83名	92名	—																																																																																																										
日本海八幡クリニック	1,720名	1,673名	1,368名																																																																																																										
松山診療所	298名	247名	349名																																																																																																										
飛鳥診療所	141名	142名	—																																																																																																										
区分	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目																																																																																																								
日本海総合病院	69名	97名	852名	592名	208名																																																																																																								
日本海酒田リハビリテーション病院	—	—	—	—	—																																																																																																								
日本海八幡クリニック	—	5名	141名	1,358名	1,080名																																																																																																								
松山診療所	—	1名	2名	343名	230名																																																																																																								
飛鳥診療所	—	—	99名	93名	—																																																																																																								
区分	実績	財源																																																																																																											
資本支出																																																																																																													
建設改良費	3,191	設立団体からの長期借入金等																																																																																																											
施設整備	1,078																																																																																																												
医療機器等	2,232																																																																																																												
ソフトウェア	27																																																																																																												
建設仮勘定	△146																																																																																																												
3 法人が負担する債務の償還に関する事項	2 法人が負担する債務の償還に関する事項																																																																																																												
<p>山形県及び酒田市に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人の成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務及び同法第41条第5項の借入金債務を負担すること。また、その債務の処理を確実にすること。</p>	<p>(1)移行前地方債償還債務 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">前期残高</th> <th colspan="4">中期計画期間中償還予定額</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法人計</td> <td>2,143</td> <td>656</td> <td>686</td> <td>715</td> <td>32</td> <td>2,088</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>2,143</td> <td>656</td> <td>686</td> <td>715</td> <td>32</td> <td>2,088</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)長期借入金 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">前期残高</th> <th colspan="4">中期計画期間中償還予定額</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法人計</td> <td>8,137</td> <td>980</td> <td>1,186</td> <td>1,191</td> <td>1,164</td> <td>4,501</td> </tr> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>7,459</td> <td>946</td> <td>1,135</td> <td>1,160</td> <td>1,134</td> <td>4,375</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>678</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table>	区分	前期残高	中期計画期間中償還予定額				計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	法人計	2,143	656	686	715	32	2,088	日本海総合病院	2,143	656	686	715	32	2,088	区分	前期残高	中期計画期間中償還予定額				計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	法人計	8,137	980	1,186	1,191	1,164	4,501	日本海総合病院	7,459	946	1,135	1,160	1,134	4,375	日本海酒田リハビリテーション病院	678	34	34	30	31	126		—																																																	
区分	前期残高			中期計画期間中償還予定額					計																																																																																																				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																								
法人計	2,143	656	686	715	32	2,088																																																																																																							
日本海総合病院	2,143	656	686	715	32	2,088																																																																																																							
区分	前期残高	中期計画期間中償還予定額				計																																																																																																							
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																								
法人計	8,137	980	1,186	1,191	1,164	4,501																																																																																																							
日本海総合病院	7,459	946	1,135	1,160	1,134	4,375																																																																																																							
日本海酒田リハビリテーション病院	678	34	34	30	31	126																																																																																																							
3 積立金の使途																																																																																																													
前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てた。	前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てた。																																																																																																												
			B	○施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。	B	B	B	—	B	自己評価のとおり																																																																																																			

中期目標(令和2年度～令和5年度)	中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和2年度から令和4年度までの 中期計画の実施状況及び業務運営の状況	中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価		設立団体による評価																																	
			自己 評価	評価の理由等	年度毎の評価				評価	評価																												
					R2	R3	R4	R5																														
	4 その他法人の業務運営に関する事項																																					
	① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	<p>・酒田市・公益財団法人やまがた健康推進機構および診療所等との連携、機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診実施体制の充実を図った。</p> <p>・酒田市が実施している「内視鏡ドック」のうち、胸部CT、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を受託し実施した。酒田市の内視鏡ドックと併せ、PET/CT検査の受診促進のため、市民に周知した。</p> <p>【実績】検診等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ドック</td> <td>80件</td> <td>78件</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT検診</td> <td>53件</td> <td>46件</td> <td>59件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】ふるさと納税</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1泊2日(ドック)</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>2泊3日(ドック、PET)</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT(半日)</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	内視鏡ドック	80件	78件	93件	PET/CT検診	53件	46件	59件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	1泊2日(ドック)	0件	1件	0件	2泊3日(ドック、PET)	0件	0件	0件	PET/CT(半日)	0件	0件	2件	B	<p>○酒田市が実施している「内視鏡ドック」のうち、胸部CT、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を受託し実施した。</p> <p>○酒田市の内視鏡ドックと併せ、PET/CT検査の受診促進のため、市民に周知した。</p> <p>○酒田市のふるさと納税ドックは、新型コロナウイルス感染拡大で延期となっていた令和元年申込者を令和3年度に1名、令和4年度に2名を実施した。</p>	B	B	B	—	B	自己評価のとおり
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																			
内視鏡ドック	80件	78件	93件																																			
PET/CT検診	53件	46件	59件																																			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																			
1泊2日(ドック)	0件	1件	0件																																			
2泊3日(ドック、PET)	0件	0件	0件																																			
PET/CT(半日)	0件	0件	2件																																			
	② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受け入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受け入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	<p>・病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「庄内北部定住自立圏形成協定」により三川町、庄内町及び遊佐町に在住の乳幼児等も受け入れる体制を整え、日曜日、祝日、年末年始休業(12/29～1/3)を除き、通年で事業を継続して実施した。また、定員9名とし当日予約の受け入れや事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受診付添いサービス及び保育園等からの病児送迎サービスを実施した。</p> <p>【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>292名</td> <td>542名</td> <td>396名</td> </tr> <tr> <td>うち職員利用者数</td> <td>153名</td> <td>235名</td> <td>167名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】受診付添いサービス等利用者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診付添いサービス</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>病児送迎サービス</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度からサービス開始</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	利用者数	292名	542名	396名	うち職員利用者数	153名	235名	167名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	受診付添いサービス	3名	3名	0名	病児送迎サービス	1名	1名	1名	B	<p>○病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、三川町、庄内町及び遊佐町に在住の乳幼児等も受け入れる体制を整え、事業を継続して実施した。</p> <p>○受診付添いサービス等について、当日予約の受け入れや事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受診付添いサービス及び保育園等からの病児送迎サービスを実施した。</p>	B	B	B	—	B	自己評価のとおり				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																			
利用者数	292名	542名	396名																																			
うち職員利用者数	153名	235名	167名																																			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																			
受診付添いサービス	3名	3名	0名																																			
病児送迎サービス	1名	1名	1名																																			
	S:計画を大幅に上回っている(目標数値110%超)		6		4	7	7	—	7																													
	A:計画を上回っている(目標数値100%超110%以下)		18		19	18	18	—	18																													
	B:計画に概ね合致している(目標数値90%超100%以下)		18		19	17	17	—	17																													
	C:計画をやや下回っている(目標数値60%超90%以下)		0		0	0	0	—	0																													
	D:計画を下回っており、大幅な改善が必要(目標数値60%以下)		0		0	0	0	—	0																													
	計		42		42	42	42	—	42																													